

第 1 種電気工事士と臨床工学技士の実務経験を活用したユニークな ブラックアウト(停電)病院 BCP コンサルティングサービスの開始について

2018年10月10日(水)

2011年3月の東日本大震災を機に私たちは『停電しない病院から、停電に強い病院へ』と停電研究の方針を変更し、今日に至るまで様々な調査や検討を重ねてまいりました。その成果を広くご利用いただけるよう助言や提案をするサービス事業を開始することとなりました。

2018年9月4日に上陸した台風21号では300万軒以上の停電が発生しました。2日後の9月6日には北海道で地震があり全道300万軒弱が停電する『ブラックアウト』が発生しました。小さな停電は全国どこかで毎日のように発生しています。

『停電は起きる』ことを前提に、停電が発生しても強靱に立ち向かえる病院・診療所づくりをお手伝いすることが弊社の役割です。

台風21号では当社が52時間停電しましたが、その間も電源品質アナライザを動作させ太陽光発電や自家発電装置の測定を継続し、また新たな知見を得る事ができました。

臨床工学技士と電気工事士の両実務経験により設備としてできることと、医療機器側の要求や対応のベストミックスができる点が特徴となっています。

当社オリジナルのデータや資料に基づき、他にはないコンサルティングを提供して参ります。



■参考：当社関連学会発表等

- 1) 第28回日本臨床工学会(口演)『医療機器の安全使用を目的としたプロセスマネジメントのための停電規模推定尺開発と代替手段の品質評価』
- 2) 第34回日本医工学治療学会(口演)『医療BCP(事業継続計画)策定における人工呼吸器代替手段の最適化検討と評価法開発』
- 3) 第46回日本医療福祉設備学会(口演)『CHE取得臨床工学技士の医療機器-医療設備境界領域の安全管理』
- 4) 第42回日本医療福祉設備学会(口演)『電子メールを活用した自動安否確認システム』
- 5) 第41回日本医療福祉設備学会(口演)『停電時の事業継続管理への医療機器安全管理システムの活用』
- 6) 第13回日本医療マネジメント学会学術総会(口演)『停電時適正対応を支える停電規模推定チャートの開発』
- 7) 第18回近畿臨床工学会(口演)『医療機器安全管理システム(OEME Pro)を利用した安全研修管理業務の負担軽減』
- 8) 第37回日本医療福祉設備学会(口演)『臨床工学技士による病院電気設備工事』

以上

ブラックアウト 医療機関BCP

広域停電・全館停電
医療機関継続計画
策定支援サービス



非常電源も偶発事故で停止危機



焼損や短絡は停電の院内発生原因



信号停止は救急搬送も遅延停滞



車椅子衝突などで破損の危険隣接



緊急性の無い機器も非常電源接続



手術中の警報対応はハイリスク



電気工事士 & 臨床工学技士が提案
停電を脅威としない強靱な病院